

東京都退職校長会



会報

発行所 **東京都退職校長会**
 発行者 **角田 美枝子**

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル5F
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

【はじめに】

タイトルは本会の「会歌」の一節です。会歌は、私達に目指す道を示し、希望と元気を沸き上がらせてくれます。

【都教育庁の 本会への期待】

二月二十二日「東京都教育庁幹部との教育懇談会」を、四年ぶりに開催することができました。

東京都退職校長会の目的の一つ「教育への寄与」活動に籠められた会員諸氏の思いを伝え、更なる教育支援につながるよう、次の



**生き生き人生奉仕の心
 伸び行く退職校長会**
 東京都退職校長会会長 **角田 美枝子**

テーマを設定しました。

一つは「教員の働き方改革」の実状を知ること。二つは今「教室で行われている授業」特に、「小中学校におけるデジタルを活用した授業」について知ること。三つは、会員の皆様と一緒に取り組んでいる「教育研究プロジェクト」チームのアンケート」を基に、本会の願いを伝えることでした。

都側は、人事部石毛朋充課長、総務部江川 徹課長、指導部毛利元一課長をはじめ八名の課長と課

長代理一名の計九名が参加され、質問や要望に丁寧に対応してくださいました。特にアンケート結果には高い関心を示していただきました。

こうした幹部の方々の対応に、本会に対する都側の期待と、本会に重きを置いてくださる姿勢を感じました。本会として、都及び地域社会の教育支援に対する、更なる頑張りへの思いを強くしました。

【いじめ対応サポーター】

支部長会で「いじめ対応サポーター事業」について、東京都教育庁指導部指導企画課から説明がありました。いじめの早期解決を目指す、生活指導やいじめ対応に関して豊富な経験と高い専門性を有する本会の会員に「いじめ対応サポーター」としての協力要請です。

会員の反響は高く、「いじめ対応サポーター」を希望する声が本部に届いています。会員の皆様で関心のある方、応援したいと思う方はぜひ本部までご連絡ください。本会として皆で協力していきたい

と思います。教育研究プロジェクトチームで取り組んでいる「教育への寄与」活動の一つが、歩みを進めます。

【終わりに】

この度の能登半島地方での災害に際しては、一日も早い復興を願っております。小中学校全校で授業が再開され、登校する子供たちの笑顔に、東京都退職校長会としてもエールを送りたいと思います。

主な記事

- | | |
|--|---------------------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶 | P5 「いじめ対応サポーター」事業について |
| P2 教育庁幹部との懇談会 | 支部日より |
| P3 財政安定化委員会
予算編成委員会 | P6 新入会員の声 |
| P4 業務運営改善委員会
令和6年度定期総会
令和6年度「第1回・第2
回会員研修会」のご案内 | P7 令和5年秋の叙勲受章会員、高齢者叙勲受章会員 |
| | P8 物故者、応募コーナー
編集後記 |

東京都教育庁幹部との教育懇談会

令和6年2月22日（木）、東京都庁教育委員会室を会場に標記の懇談会が持たれました。コロナ禍もあり、実に令和2年2月以来の企画でした。

懇談会にはご多用の中、人事部勤務課長石毛朋充様はじめ、江川徹様（総務部情報企画担当課長）、土屋秀人様（指導部指導企画課長）、毛利元一様（指導部企画推進担当課長）、坂本教喜様（指導部義務教育指導課長）、中村大介様（指導部特別支援教育指導課長）、信岡新吾様（指導部高等学校教育指導課長）、坂井良充様（総務部広報統計課長）、渡辺宏延様（総務部広報統



計課課長代理）の9名の方々が出席されました。本会からは角田美枝子会長以下、相談役3名、副会長4名、部長2名、事務局長1名の計11名が参加しました。

事前に三つのテーマを設定、当日は趣旨説明を行い、その回答を受け懇談に入りました。

三つのテーマ

1. 都における「学校の働き方改革」の進捗状況について
2. 「東京型教育モデル」の実現状況について
3. 「教育への寄与」について

「東京の教育の今」を知り、「教育への寄与活動」の活性化を目指しました。

教育庁からのテーマへの回答は次の通りです。

【都における「学校の働き方改革」】

都教育委員会はこれまで、平成30年2月に学校における働き

方改革推進プランを策定し、外部人材の活用やデジタル化等の取組を推進してきました。

こうした取組の結果、時間外勤務の状況は改善傾向にあるが、依然として長時間勤務の教員が多い状況となっています。

学校教育の質の維持・向上に向けては、教員がやりがいをもって生き生きと働ける環境づくりを一層進めていくことが重要です。

このため、都教育委員会は、今後、集中的に取り組むべき具体的な対策を「実行プログラム」として令和5年度中に取りまとめ、学校における働き方改革を更に加速させてまいります。

【東京型教育モデル】

予測困難時代を生きる子供たちは、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を身に

付ける必要があります。

都では、東京都教育施策大綱を踏まえ、身に付けるべき資質・能力及び授業改善のポイントを整理し、令和5年4月に指導資料「デジタルを活用したこれからの学びの提案」にまとめ、区市町村教育委員会及び都立学校長に向け発出しました。

本資料では、子供たちが身に付ける資質・能力を「予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、自分で課題を設定し振り返り、責任を持って行動する力」と定めました。また、一斉指導を行わず子供に学びを委ねる授業を全体の2割程度から始めるよう提案しており、3つの学びに示された要素を有機的に関連させながら授業作りを行う内容としています。

誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望をもって自ら伸び、育つ教育を目指す東京型教育モデルの実現に向け、授業改善の手掛かりとして活用して

もろうよう、都教委訪問等の機会を効果的に活用しながら周知を進めているところです。

今後、学校現場から求められる実践事例については、研究校における研究成果を都内全公立学校で共有する場を設定するなど、発信してまいります。

【教育への寄与】
都教育委員会では、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、求められる役割が拡大する中、学校教育の更なる充実のため、学校の支援を進めています。

現在、教育庁指導部において、一括して直接学校を支援するようなシステムは持ち合わせていませんが、各事業の中で、学校に関わる支援業務を実施してきております。

2点ご紹介いたします。①【いじめ対応サポーター】「子供が安心して生活できる学校づくり検証事業」を実施し、子供のよさや成長、気になる様子を共有す

る校内の仕組みづくり、教員に助言し必要な対応を行う人材の配置。②【教育支援センター機能強化補助事業】区市町村が設置する教育支援センターによる「不登校児童・生徒への支援」に関わる人材の配置に対する補助。

その他にも、「スクールバス安全運行支援員」「学習指導員」「理数教育支援員」「産業教育コンソーシアム支援員」などがございます。これらは、随時、東京都教育委員会のホームページにおいて募集を行っております。

これまでも、臨時的任用教員等の確保に当たり、貴会会員の方への周知など、ご協力をいただいておりますが、これからも教育管理職を経験された皆様のご協力をいただけるよう、情報提供をしてまいります。
(回答課 指導部指導企画課)

財政の安定化に向け

財政安定化委員会

委員長 草野一紀

本委員会の目的は、財政難に陥っている本会の財政の改善の方策を検討し、運営の改善に役立てることです。

会の財政は、約2,100名の会員の会費によって賄われていきます。ところが、節減できない支出だけですので、会費収入を上回っており、特別会計からの持ち出しとT社からの寄附金でしのいでいるのが現状です。

そもそも財政難の原因は、会員数の減少にあります。かつて6,000人超の会員を擁した時代の財政規模を継続してきたことに起因しています。この状況を改善し、財政の安定化を図るには、会のスリム化しか方法はありません。活動の質を維持しつつの改善は険しい道ですが、皆様のご理解・ご協力により、前進したいと思えます。どうかよろしくお願いいたします。

厳しい現状と期待の会員増

予算編成委員会

委員長 桐谷澄男

本会は会員減が顕著に進み、年々財政規模が小さくなっています。一般会計には会則に則った重要な項目が多く、縮小しにくくなっておりますが、予算編成委員会では、懸命に遣り繰りして予算を組み立てて参りました。

しかし、予算の削減だけでは、もう限界があります。「予算編成委員会」と「会員増強プロジェクトチーム」とは車の両輪。一つになって、一層頑張っていかなければならないと思えます。

期待は会員増です。幸いにも、支部長会において、会員増に向けて工夫された手法が本会支部長から紹介され、各支部では、それを参考に、今、正に会員勧誘の最中です。

なお、全委員会が一丸となつて、本会の将来を考えて備蓄についてしっかりと計画を立てていることを申し添えます。

「業務運営改善委員会」発足
 業務運営改善委員会
 委員長 宇津木順一

令和五年八月三十一日、角田美枝子会長から5名の委員委嘱があり、第1回委員会を開催した。

・委員設置の趣旨・目的
 会長の運営方針「会則に則った、穏やかに、協力し合って、温もりのある運営」をふまえ、業務運営の改善について検討する。

・委員（任期2年）
 宇津木順一、桐谷澄男、西田敦子、壺内 明、赤坂寅夫

・委員会開催
 令和五年度は4回開催

・主な検討事項

- ① 本会の組織運営の仕組みを簡明に示す組織図
- ② 東京都の新たな定年制（定年引上げ及び役職定年制）の実施に伴う会則の一部改正（案）（本改正案は第3回支部長会で提案し承認されている。）
- ③ 本部直属のクラブ活動
- ④ 準会員、特別会員等

・次年度へ向けて
 諸課題について継続して検討する。検討事項については随時支部長会等で報告し業務運営の改善に資する。

令和六年度 定期総会について

令和六年度定期総会は、左記の通り、行われます。

○日時 五月十五日（水）
 一二時三〇分

○会場 主婦会館プラザエフ（JR四ツ谷駅麹町口前）

- ・受付 一二・〇〇
- ・定期総会 一二・三〇
- ・会員研修会 一四・三〇
- ・懇親会 一六・〇〇
- ・終了 一八・〇〇

本年は角田会長以下新体制二年目の総会となります。総会に当たりましては、功労・栄誉・長寿会員の皆様にご案内状を送りするところではありますが、昨年同様会場やコロナ等の件に鑑み、個々の方々へのご案内状は失礼させていただきます。当日は、各代表お一人に感謝状、寿詞、賀詞をお渡しいたします。代表者以外の方々には、支部にお届けしますので、ご理解いただきたくお願い申し上げます。

なお、当日の総会、会員研修会、懇親会への各支部からの参加申込みについては、三月下旬に各支部長宛に、連絡させていただきます。

（総務部担当副会長 赤坂寅夫）

令和六年度 「第1回・第2回会員研修会」のご案内

東京都退職校長会 会長 角田美枝子
 生涯学習部

令和六年度の会員研修会は、第1回会員研修会・第2回会員研修会を下記のように、関連付けて実施いたします。ご参加をお待ちしております。

・第1回会員研修会

日時 5月15日（水）
 総会后 講演「自然を楽しもう！」《理論編》
 内容 山歩き・野外歩きの楽しみ方、山野草とのふれあい方等を学ぶ

・第2回会員研修会

日時 11月13日（水）＜予備日11月21日（木）＞
 内容 野外散策「自然を楽しもう！」《実践編》皇居東御苑を散策

「生き生き人生をめざして」～自然を楽しもう～

趣旨 山歩き・野外散策を通して、山野草とのふれあい方等、自然とのかかわりを大切にする
 こと、自然を楽しむことを経験し、さらなる生き生き人生をめざす。

講師 荒川支部 荒川シルバー大学代表副理事長 箭内 忠義先生（第1回・第2回両方）

- ・本年度と同じように、全支部長にメールで資料等をお送りいたします。支部長は、会員の方々にメール等で連絡をお願いいたします。
- ・第1回会員研修会に参加されていない方も、第2回会員研修会に参加できます。

「いじめ対応サポーター」
事業について(御協力依頼)

東京都教育庁指導部
指導企画課

課長 土屋 秀人
統括指導主事 濱田奈津子

都教育委員会では、いじめ問題への取組の強化を目的として「子供が安心して生活できる学校づくり検証事業(いじめ対応サポーター)」を実施している。

サポーターは、いじめ問題に知見を持つ外部人材が、子供の気になる様子に関する実態把握、児童・生徒理解等に関する学級担任等への助言など、いじめ問題の未然防止や早期発見に資することが求められる。本事業は、趣旨等を踏まえた学校が応募し、サポーターの人選も学校が主体となっていく。サポーターには、全ての子供たちが安心して生活できる学校であるよう、教員を補助し支える役割を担っていただくことを期待しており、退職校長会の皆様の御経験等から、是非、御協力いただけるようお願いしている。

支部だより

多士済々

台東支部長 村山 忠幸

台東支部の会員数は十一名と少ない。しかし、その中には米寿を迎えられても現役で認定子ども園の園長として活動している方がいる。傘寿を過ぎてても算数教育研究会で活躍している方もいる。また、町の老人会の会長として活躍している方もいる。区の教育委員に昨年再任された方がいる。この方は、大学で教員志望の学生の指導をしていて、学習支援子食堂を始めた。最近まで全国高等学校長協会の事務局長を務めていた方がいる。この方は大学で講師をしながら、町会の理事も務めている。また、大学で授業を行いながら、区の人権擁護委員に任命され、多忙な中で支部の会計を快く引き受けてくれた方もいる。このように我が支部は多士済々である。これからも、支部活動の充実に努めていきたい。

がんと向き合う人を支える基本のがん保険

生きるためのがん保険Days1		オリジナルプラン		保険期間	月払保険料例 個別取扱 左記プランの場合 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間:終身/定額タイプ 特定保険料払込免除特約なし	
<生きるためのがん保険Days1>入院給付金日額 5,000円		がん・上皮内新生物それぞれ1回限り		一生保障		
診断給付金	初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき	がん・上皮内新生物それぞれ1回限り	一時金として がん 上皮内新生物 50万円 5万円	年齢	男性	女性
入院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする入院をしたとき	日数無制限	1日につき 5,000円	60歳	3,440円	2,080円
通院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする次のいずれかの通院をしたとき ①特定の治療(*1)のための通院 ②初めて診断確定をされた日、所定の治療(*1)を受けた日、または退院日の翌日から365日以内の通院	①日数無制限 ②通院期間中(365日以内)日数無制限	1日につき 5,000円	65歳	4,110円	2,330円
				70歳	4,750円	2,580円
				75歳	5,375円	2,855円
				80歳	6,000円	3,185円
				85歳	6,695円	3,615円

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。
 (*1)所定の治療とは、手術・放射線治療(電磁波温熱療法を含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)をいいます。
 ・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
 ・個人情報の利用目的: アフラック等各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは弊社HPをご参照ください。

保険料は、2023年4月現在のものです。
 ※健康状態によっては、記載の保険料と異なる場合があります(保険料が割増となる場合があります)。お申込み後にアフラックから送付する書面をご確認ください。

資料請求・お問い合わせ・お申込みは
 (平日 9:00~20:00 土日祝 9:00~17:00)

0120-357-212

〈募集代理店〉アフラックは代理店制度を採用しております

(引受保険会社)

三井住友信託銀行グループ
三井住友トラスト・ライフパートナーズ
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

「生きる」を創る。 **アフラック**
 東京第一法人営業部
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19F
 Tel.03-6367-3666 Fax.03-3218-3887

AF003-2023-0274 5月2日 (240502)

自然豊かな練馬支部

練馬支部長 添田 禮子

正月早々、能登での自然の怒りの怖さをテレビが次々と映し出しました。以前観た能登の自然の美しさとの違いに愕然としました。

一歩外に出るとメタセコイアの木々の隙間から鳥たちが楽しそうに遊び、いつもの三宝寺池の美しい自然の姿がありました。普段のままで良い、それが幸せなのだから。強く感じました。

練馬区は昭和22年8月に板橋から分かれた23番目の区です。後発ですが23区の中で一番自然が多く、児童公園も沢山あります。しかしながら、練馬支部も他の支部と同じ悩みを持っておられます。

今年度は、①10地区を4地区に統合し、今まで以上に会員のコミュニケーションを図る。②委員会の精選を図り、役員の負担を軽減する。③現役の自主校長会に幹部が出席し、現役校長との交流を深め、新会員の増強を図る。

そして、年代を越えて教育を語り合える支部にしたいと考えています。

新入会員の声

よろしくお願ひいたします

新宿支部 表迫 信行

令和五年三月、教員生活、並びに校長としての生活が定年を迎えたところ、所属している研究会の先輩方からのお誘いもあり、本会に入会させていただきました。よろしくお願ひいたします。

私は昭和六十一年から品川区千代田区、文京区、国分寺市、練馬区、そして新宿区の小学校、また教育行政では世田谷区教育委員会や東京都教育委員会で仕事をしていた。これまでもお世話になった皆様には心から感謝申し上げます。

現在は、新宿区立戸塚第一小学校で再任用校長として、気持ちを新たに、子供たちのためにと微力ですが、その任にあたりております。学校現場は課題山積の状況が続いておりますが、日々、試行錯誤しながらも何とかその職責を果たしてまいりたいと考えております。

ご希望のご予算に合わせてお葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

ホームページ



本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

気持ちを新たにスタート

町田支部 福田 秀樹

令和4年度に町田市立成瀬台
中学校に校長職として昇任・着
任し、年度末をもって定年退職
となりました。暫定再任用職員
として、任用が認められました
ので引き続き校長職として勤務
させていただきます。

都の教職歴は26年間です。多
摩市1校、八王子市4校（途中
日本人学校1校）、最後が町田
市の現任校になります。生活指
導困難校も複数あり、生活指導
主任として勤務することも長く
ありましたが、在外教育施設も
含め特別支援学級設置校を5校
経験したことが教職経験の豊か
さに繋がっていると感じます。
退職校長会の一員として気持
ちも新たに、生徒に寄り添う学
校経営に努めていく決意です。
今後とも退職校長会の皆様の
御指導・御鞭撻のほど、よろし
くお願いいたします。

令和5年 秋の叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）

瑞宝中綬章（1名）及川 良一（千葉北部） 瑞宝双光章（1名）鈴木 一男（中野）

高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）

（令和6年1月15日現在 本部に届けがあった方々）

瑞宝双光章（7名） 寺沢 史（日南） 高橋 正幸（千葉中部）
小池 敏夫（地方・山梨県） 吉田 欣二（西多摩） 池田 令子（埼玉県）
（令和3年受章） 森田 洋子（西多摩） 手塚 近雄（埼玉県）

（福利厚生部担当副会長 増田 稔）

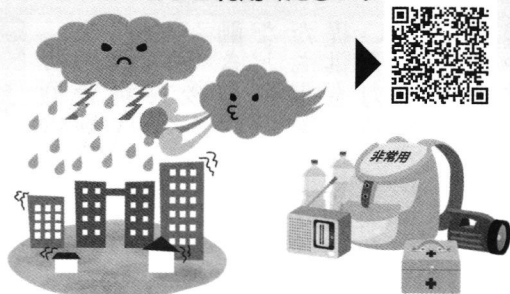
あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

突然起こる自然災害。
一人ひとりが日常的に防災を
意識することが大切です。

教職員共済のホームページでは、
防災情報や、学校での避難訓練に
役立つコラムを掲載しています。

ぜひご利用ください！



災害に備える

それでも防ぎきれない
想定外の自然災害や火災には、
教職員共済の火災共済と
自然災害共済で備えましょう。

あなたの大切な住まいと
家財をまもるために。

火災共済

住宅災害等給付金付火災共済

自然災害共済

まずはお気軽に資料請求を

家財契約のみでも
ご契約いただけます。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京都事業所

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5 階

TEL : 03-3230-0818

(令和6年1月15日 届出現在)

物故者		氏名		年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
辻野 具成	5・10・14	八王子	中	85	31			
立谷 博美	5・10・12	練馬	小	90	22			
増渕 滋	5・10・8	八王子	中	86	31			
國山 直輝	5・10・5	北多摩西部	中	97	50			
川瀬 吉郎	5・10・3	板橋	高	97	20			
西田 達	5・9・27	足立	中	90	24			
福田 營二	5・9・19	埼玉県	小	84	66			
脇田 廣	5・9・15	神奈川県	小	74	71			
村木 通輝	5・9・3	北多摩北部	小	89	43			
宮澤 義一	5・5・20	町田	小	78	35			
中西 靖之	5・5・9	八王子	中	92	30			
小村 嘉造	5・10・17	八王子	小	95	30			
府川 次男	5・10・26	武蔵野	中	93	40			
市村 晋	5・10・29	日南	小	100	39			
入谷 弘	5・11・13	西多摩	中	78	55			
宮澤 歳男	5・11・14	練馬	小	98	21			
土田 芳夫	5・11・29	日南	小	89	36			
三井 知夫	5・11・29	杉並	小	97	16			
大久保明夫	5・11・30	千葉南部	小	87	58			
島村 勝實	5・12・2	北	小	91	18			
福田 文夫	5・12・3	八王子	小	91	30			
横山 旭	5・12・7	町田	小	88	34			
関谷 久	5・12・12	西多摩	中	98	56			
岩切 正睦	5・12・13	北多摩北部	小	93	41			

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)



謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます

応募コーナー

俳句

白梅やともて愛でたる人は逝き
凡庸に生きて笑ひて花菜漬
目黒支部 松村由紀子

◎寄稿 杉並支部俳句クラブ
初雪に足元確か身を屈め
節分や豆に赤飯福を呼ぶ
井口 茂

うつつと足奏えをれば雪催
残る雪生活のままに隣り合ふ
木下佐千子
緋の蹴出し捌きさわやか阿波踊り
滝行場しぶきの先に石露の花
峯岸 誠

写真俳句

短日や
跨線橋に
太宰泣く



2023年12月17日三鷹跨線橋廃止

武蔵野・三鷹支部 梅津通郎

※写真俳句は今静かなブームを見
ていますが、本コーナーでは初掲載
です。投句お待ちしています。字数
の都合上写真一枚一句の投句で願
います。

編集後記

今回の会報には、令和2年以
来の企画であったという「東京
都教育庁幹部との教育懇談会」
の内容が、詳細に書かれている。
今後もさらに加速する学校の
働き方改革や東京型教育モデル
などについてはかりでなく、私
たち退職校長が協力できる情報
提供も、積極的にして下さると
いう力強い言葉もいただいた。
新聞やテレビなどでも取り上
げられた、不登校の児童生徒を
仮想空間で支援しようという実
践や学校部活動の地域連携・地
域移行へつなげていく試みなど、
都の積極的かつ先進的な取り組
みに熱意とパワーを感じる。
今後もこのような、都教育委
員会との懇談は継続してほしい
と願っている。
退職校長会で協力できること
を探り、小さなことでもできる
ことから手掛けていきたいと
思っている。
会員の一人一人の考えや願い
を各支部で出し合い、都退職校
長会へ提案することは大事なこ
とだと感じている。
最後に、巻頭言にも書かれて
いるが能登半島地震の爪痕は大
きく、元の生活を取り戻すこと
ができない状況が続いている。
一日も早い復興を願うばかりだ。
(石原容子)